

〈報道関係のみなさま〉

特集 ジャーナリストという選択

「月刊 Journalism」 2月号発売!

株式会社朝日新聞社（代表取締役社長：渡辺雅隆）が発行する「月刊 Journalism」の2月号が2月9日に発売となりました。

特集は「メディアを目指す学生へ、報道各社アンケートを掲載！
ジャーナリストという選択」と題し、メディア企業への就職を考えている学生のために、30代を中心とした先輩たちからのメッセージやアドバイスを掲載しました。

編集部では新聞、通信、テレビの計13社にアンケートを実施し、キャリアプランや研修、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みなどを聞いています。

巻頭座談会は、今メディアで輝いている30代の4人です。石戸諭さんはニュースサイト BuzzFeed Japan で活躍。神原一光さんはNHKの大型企画開発センターのディレクターで番組に新しい風を送り込んでいます。朝日新聞の野上英文記者はパラダイス文書報道の中心メンバーで、沖縄タイムスの與那覇里子さんは沖縄戦アーカイブで注目されました。法政大学の藤代裕之准教授の司会で、仕事のやりがい、組織の中の個人など、さまざまなテーマを語り合いました。

このほかフォトジャーナリストの安田菜津紀さん、ノンフィクション作家で探検家の角幡唯介さん、朝日新聞ニューヨーク支局で『ルポ トランプ王国』（岩波新書）の著者である金成隆一記者、NHKチーフ・プロデューサーの板垣淑子さん、ヤフーから石巻日日新聞に転職した石森洋史さんがそれぞれメディアで働くことへの熱い思いを書いています。

「月刊 Journalism」は2008年10月、研究誌をリニューアルする形で創刊。「問われるメディアと権力」（2017年9月号）、「フェイクニュースとネット言論」（同11月号）などさまざまな問題に取り組んでいます。

定価800円（税込み）、年間購読料は8800円（税・送料込み）。全国の書店、ネット書店、ASA（朝日新聞販売所）で注文によってお求めいただけます。

